

2013年12月20～23日

## 宮城県東松島市における交流イベント報告書

～四日市東日本大震災支援の会 第20回派遣～

2014年1月15日

四日市東日本大震災支援の会  
代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

支援の会の20回目の派遣は、2013年の12月下旬に計画された。高校と大学の学年歴を前提に活動日程を検討すると、この日程を組まざるを得なかった。活動は、2日間各で合計5か所の仮設住宅で行った。21日は、矢本運動公園仮設とひびき工業団地仮設で活動を行い、それぞれ午前中にサポセンと集会所の大掃除を行い、午後にはお茶会と足浴を実施した。22日には、グリーンタウン仮設において午前中にサポセンと集会所の大掃除、午後にお茶会と足浴を実施した。また同日、根古仮設においては午前中に集会所と仮設住宅全戸の大掃除を実施し午後には仮設住人としめ縄づくりを行い、鷹来の森仮設ではお茶会を実施した。

また、21日の夜には、高校生は石巻専修大学の木村教授が主宰する耕人塾に参加し、宮城県の高校生と交流を持った。大学生は日中に活動した矢本運動公園仮設の集会所で、被災者の体験を聴く会を開催した。21日の夜は矢本運動公園の東西2つの集会所に男女が分かれて寝袋で宿泊した。

### <スケジュール概要>

12月20日(金): 19:00 出発(四日市大学バス停)

12月21日(土): 宮城県東松島市～激甚被災地を視察

⇒ 10:00 矢本運動公園仮設で降車

⇒ 矢本運動公園仮設・ひびき工業団地仮設で活動

⇒ 17:00 みちのくで夕食

⇒ 元気の湯で入浴

⇒ 高校生は石巻専修大学で交流会、大学生は矢本運動公園で語り部の講話を聴く

⇒ 23:00 就寝; 矢本運動公園仮設住宅集会所で宿泊

12月22日(日): 7:00 起床、朝食

⇒ 8:30～グリーンタウン・根古・鷹来の森の仮設に移動して交流イベント

⇒ 17:00 現地出発

⇒ 仙台で入浴 ⇒ 帰路に

12月23日(月): 朝7時頃に四日市大学帰着、朝食、片付け

⇒ 9:00 より振り返りミーティング(授業のある学生は、授業優先)

⇒ 11:00 頃解散

### <参加費>

大学生 13,000 円

高校生 9,000 円

(スタッフは 6,000 円)

# 三重県の高中生・大学生と 大掃除 & お茶会

12月21日(土) 手伝ってくれた子供たちには、お土産があります!  
午前10時半～ 矢本運動公園仮設

四日市東日本大震災支援の会は、2011年5月より継続的に東松島市の支援を行ってきました。ここ、矢本運動公園仮設においては、何度も、お茶会・足湯・ライブなど、交流イベントを開催してきました。今回は、三重県の高校・大学が協働で、年末の大掃除と交流会を企画しました。



年末の大掃除!



お茶会で交流!



足湯でリラックス!

集合場所: 矢本運動公園東集会所

日時: 12月21日(土) 午前10時半

- ・ 午前中は、私たちと一緒にサボセン・集会所を掃除しましょう!
- ・ エフロン・ゴム手袋などを用意ください。
- ・ 午後は、足湯マッサージでリラックス・リフレッシュ!
- ・ お茶会も実施します。★お茶会&足浴は午後2時開始
- ・ 午後からの参加も大歓迎!



四日市東日本大震災支援の会

←矢本運動公園仮設イベントのポスター



集団移転先の造成工事を視察



大掃除で窓拭き



石巻専修大学「耕人塾」



サプライズで餅つき大会



交流会での足浴



自治会長さんの講話



しめ縄づくり



お茶会で震災時の話を聴く

# 私たちにも、できることがある。

2013年12月20～23日；宮城県東松島市における交流ボランティア

～四日市東日本大震災支援の会 第20回派遣～

2013年12月11日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

震災から2年半がたちました。われわれが継続的に支援をしている宮城県東松島市では、ようやく復興への動きが見られるようになりましたが、まだ多くの方が仮設住宅で不自由な暮らしをしています。今回の派遣では、仮設住宅での年末の大掃除の手伝いと交流会を目的に派遣を行います。

## <活動の概要>

### ■被災地視察

壊滅的被害を受け集団移転が決まっている東松島市の野蒜地区、大曲浜を視察し、被災された方より当時のことについてお話を聴かせていただきます。

### ■仮設住宅；大掃除&交流会

東松島市の不自由な暮らしをしている仮設住宅で、年末の大掃除&交流会を開催します。今回は2日間にわたり、いくつかの仮設住宅を対象にする予定です。高校生は大掃除を中心に活動、大学生はお茶会の運営と足浴の実施を中心に活動します。若いパワーで被災した皆さんに元気を与えられるよう、頑張りましょう。

### ■耕人塾（高校生対象）

石巻専修大学の木村教授が主宰する耕人塾は、文化・教育発展への志を持ち、「人間力」を磨いて地域や社会に貢献する人を育成する中高生対象の集まりです。ここに特別参加し、宮城の高校生たちと交流を持ちます。

★ネットで「耕人塾」で検索できます。

### ■交流・研修会（大学生対象）

宮城で被災地支援の活動をしている学生と交流を持ち、われわれの今後の活動のあり方について考えます。

### ■仮設住宅生活体験

矢本運動公園仮設住宅の集会所で宿泊し、仮設住宅での暮らしを体験します。

### ■東松島市の民謡を録音；交流会で演奏会を開催

11月の四日市市民大学では、東松島市在住の民謡歌手である阿部さんに講師として参加していただきます。そのとき、東松島市に伝わる曲「野蒜甚句」と、ご自身が被災した浜のことを題材に創作した曲「奥松島甚句」の2曲を、四日市大学でレコーディングします。今回の派遣では、伴奏のパートなどレコーディングの追加作業を行い、仮設住宅での交流会でも唄っていただく予定です。

## ★申込方法・参加費

**申込**：以下の情報・書類を学校で取りまとめます。

★氏名・フリガナ・性別・生年月日・郵便番号・住所・携帯番号・緊急連絡先

★寝袋をお持ちの方は申し込み時に教えてください。数が不足しています。

★保護者と参加者本人がサイン・捺印した**参加同意書を提出**してもらいます。

**参加費**：大学生 13,000円 高校生 9,000円（スタッフは 6,000円）

<費用の内訳>

- ・四日市大学ー宮城県の往復バス・現地での移動
- ・食事5食；21日の昼食・夕食、22日の朝食・昼食、23日朝食（その他は各自負担）
- ・入浴2回分
- ・ボランティア活動保険・旅行保険

★20日の夕食・21日朝食・22日夕食は各自負担です。

がんばろう、  
日本。

## <スケジュール概要>

- 12月20日(金): 18:00 四日市看護医療大学 40B 教室集合、事前打ち合わせ  
⇒ 19:00 出発(四日市大学バス停) ★集合までに食事を済ませてください。
- 12月21日(土): 宮城県東松島市～激甚被災地を視察  
⇒ 10:00 矢本運動公園仮設で降車、荷物の搬入  
⇒ 矢本運動公園仮設住宅の大掃除開始(一部は、ひびき工業団地仮設で活動)  
⇒ 12:00～昼食(弁当支給)  
⇒ 交流会準備  
⇒ 午後は交流会(足浴&お茶会)  
⇒ 17:00 みちのくで夕食  
⇒ 元気の湯で入浴  
⇒ 研修会(高校生:石巻専修大学 大学生:矢本運動公園仮設)  
⇒ 23:00 就寝;仮設住宅生活体験(集会所で宿泊)
- 12月22日(日): 7:00 起床、朝食  
⇒ 8:30～別の仮設住宅(グリーンタウン・根古・鷹来の森)に移動して大掃除  
⇒ 午後;交流会(足浴&お茶会)  
⇒ 17:00 現地出発  
⇒ 仙台で入浴 ⇒ 帰路に
- 12月23日(月): 朝7時頃に四日市大学帰着、朝食、片付け  
⇒ 9:00 より振り返りミーティング(授業のある学生は、授業優先)  
⇒ 11:00 頃解散

## <持ち物(バス内では、座席には最小限の荷物だけを持ち込むこと)>

- ・筆記用具(活動中に記録をとる小さなメモ帳は必ず用意してください)
  - ・健康保険証・常備薬・歯磨きセット
  - ・お金(親戚やお友達などに、たくさん土産を買ってくることも、大きな経済的支援です)
  - ・かさ・帽子・電池式携帯充電器
  - ・エプロン(交流会では、全員が着用します)
  - ・ボランティア活動保険証書(支援の会で加入し当日渡します。加入済みの人は持ってきてください)
  - ・マクラ・クッション・バスタオル・マスクなど(バス移動と集会所宿泊に利用)
  - ・寝袋を持っている人は持参ください(申し込み時に申告)。
  - ・入浴用タオル、着替え(現地で2回入浴します)、ビニール袋 ★往復のバスではトランクに入れる
- ★雪は少ない地域ですが、朝晩はかなり冷え込みます。防寒対策をしっかりとってください。

## <注意点、守るべきこと>

- ・被災者の気持ちに寄り添い、傷つけるような言動をしないこと
- ・積極的に被災者に対し、家族や友人、お姉さん、お兄さんのように笑顔で接しましょう
- ・家族を失ったり、家を流されたり、被災者が大変な経験をしていることを常に忘れないでください
- ・指示されたことだけでなく、自分で考えて行動しましょう
- ・名前や職業・住所を聞くことは、基本的にNGです。深い絆ができれば、交換もOKです。
- ・写真撮影は深い絆ができてからにしましょう
- ・活動中の写真や映像が、ホームページや報道で使われることがあります。了承ください。

## <高速バス運行体制>

本会の東北派遣では、費用よりも安全という考え方を徹底しており、運転手2名体制での運行、運転手の現地での十分な休息確保をしております。そのため、現地での活動で不便なことがあります。ご了承ください。今後も、さらに安全運行を徹底するよう、会としても努力を続けます。

\* JTB総合提携店(株)第一観光(担当;黒田真史)を通じ、名阪近鉄バスで宮城県を往復します。